

熊本県漁業取締船「あまくさ」

Kumamoto Prefecture Fisheries Patrol Boat “AMAKUSA”

技術開発本部 艦船技術部

1. はじめに

本船は、熊本県沿岸における水産資源の保護を目的とした漁業取締業務に従事するために建造された第3種漁船である。

熊本県殿から発注を頂き、弊社横浜事業所鶴見工場で令和7年5月に起工、令和8年3月に竣工した。

本船の主な特徴を以下に紹介する。

2. 本船の特徴

2.1 一般性能

船型は、木原式ステップバウ付ウォータージェット適合型ディーペストV船型である。

ディーペストV船型は、ウォータージェット推進船に特有の荒天時追波中のダッチロール現象を軽減するため、船尾においても十分な船底傾斜角を有すると共に、船側部に向かって、十分な反りを保持している船型である。

2.2 船体部

主船体及び上部構造の材質は耐食アルミニウム合金製とし、重量を軽減しつつ、堅牢な構造としている。

漁労装置として、漁網の引き揚げに用いる油圧式の網揚機を船首隆起甲板上に1台装備している。

上甲板下には公室、乗員用の船員室6室、賄室及びシャワー室を配し、上甲板上には操舵室、その後方にはトイレを2室設けて女性職員乗船にも配慮している。また、居住性向上のために各室には、個別に空調を完備し、さらに防音・振動への対策も講じている。

2.3 機関部

主機関は高速ディーゼル機関2基で、操舵室からの遠隔制御となっている。

推進器は、高性能のウォータージェット推進装置を2基装備している。また、本船はジョイスティックによる操船機能を備えており、出入港時における離着岸操船ならびに海上取締業務における定点保持時の操船性向上に寄与している。



2.4 電気部

本船は、ブラシレス式交流発電装置1台を機関室に装備している。

また、高性能の海上監視カメラシステム、監視装置、各種通信機器などを装備し、密漁、違法操業等の取締業務に活用されている。

加えて、電光情報表示装置を両舷に固定装備し、周囲船舶に対する操業区域の周知、啓発活動や禁漁期間等の注意情報伝達を可能としている。

3. おわりに

弊社は、漁業取締船など高速船艇の建造実績が多数あり、既存船と比較してより高性能な漁業取締船を引き渡すことができた。

熊本県が保有する漁業取締船は2隻であり、もう1隻も弊社横浜事業所鶴見工場で平成24年9月に建造・引渡しされた「あそ」である。「あまくさ」ならびに「あそ」の両船が熊本県沿岸における漁業取締業務の一翼を担い、今後も安全な航海のもとで活躍されることを期待する。

表1 「あまくさ」 主要目
Table 1 Principal Particulars

全長	28.60 m
最大幅	5.50 m
型深さ	2.75 m
総トン数	68
主機関	ディーゼル機関 2基
推進器	ウォータージェット 2基
定員	9名
巡航速度	35 kt 以上